

H2.3.23.愛知県地域包括ケアモデル事業活動成果報告会講演

「地域（まち）づくりと

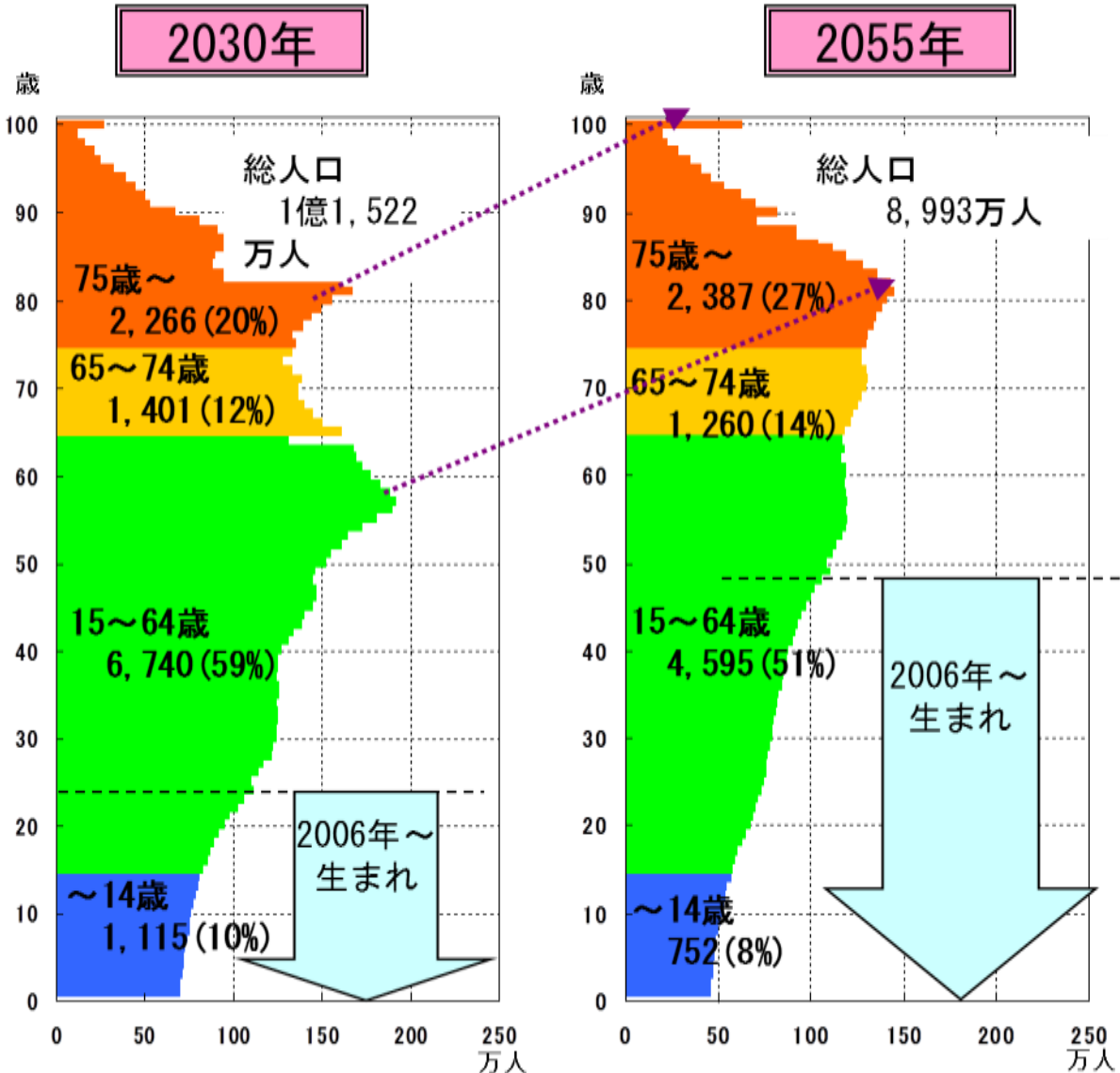
地域包括ケアシステムの構築」

～ 公立みつぎ総合病院の取り組みを中心として～

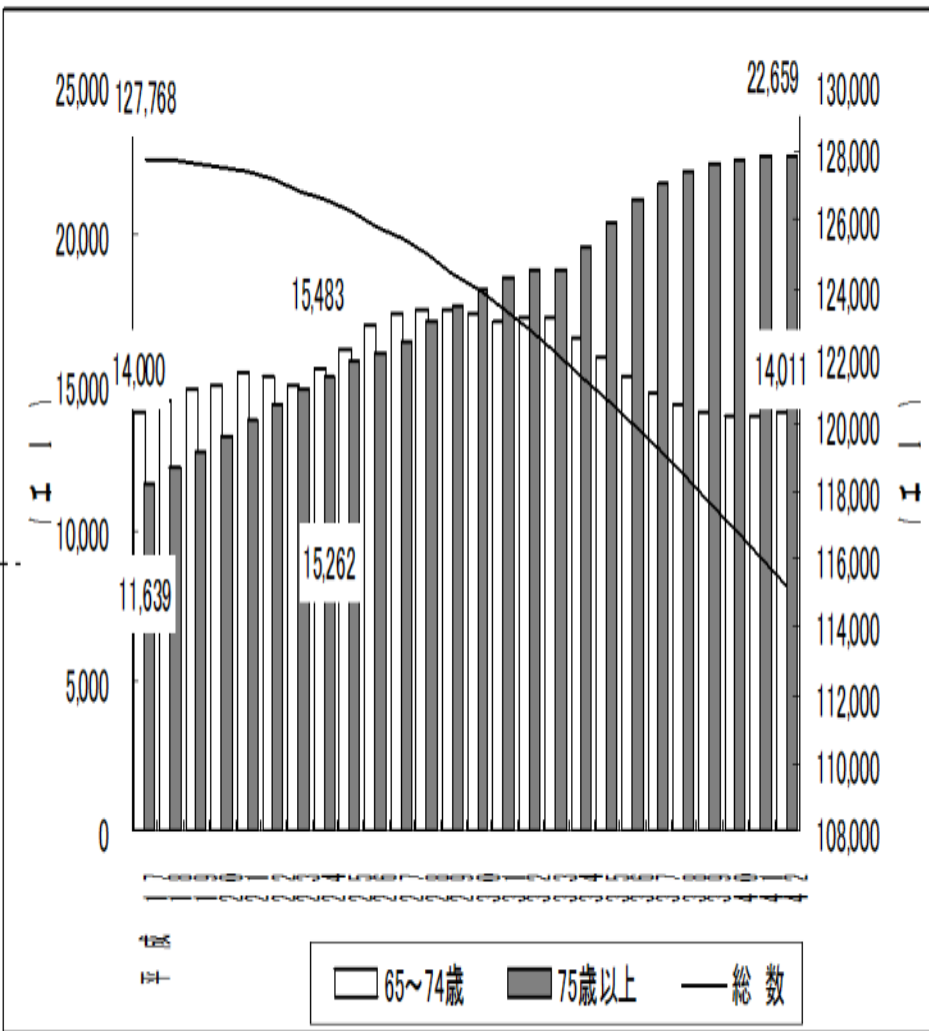
公立みつぎ総合病院 名誉院長・特別顧問
広島県地域包括ケア推進センター長
山 口 昇

わが国の将来の人口ピラミッド

前期・後期高齢者人口の将来推計



注: 2005年は国勢調査結果。総人口には年齢不詳人口を含むため、年齢階級別人口の合計と一致しない。(出典: 厚労省)



出典: 国立社会保障人口問題研究所
「日本の将来推計人口(平成18年12月推計)」

地域包括ケアシステムが医療介護総合確保推進法 (第6次医療法改正)にもりこまれるまで

○ 超少子高齢社会の到来

○ 社会保障と税の一体改革(H24)(民主党政権)

○ 社会保障制度改革国民会議報告書(H25)
(自民政権)

○ **医療介護総合確保推進法(H26)**

○ 今や国の政策の大きな柱

○ 医療・介護連携(在宅医療の推進)

○ **地域包括ケアシステムの構築**

医療・介護の動向

- 医療提供体制
 - 高度急性期、急性期、回復期、慢性期
(病床機能を病棟毎に報告)(H.26.第6次医療法改正)
- 地域包括ケア病棟、地域包括ケア診療管理料の新設
- 従来の医療は治療中心 → Cure後のCareは？
- プライマリケアの重視
 - 新医師臨床研修制度(地域医療が必修科目)
- **在宅医療の重視** ○ **医療と介護の連携**
- 専門医療と総合診療 → **総合診療(専門)医**の誕生
- **地域包括ケアの必要性**
- 医療法改正、介護保険法改正(軽度者の介護サービスの見直し)
(H.26.医療介護総合確保推進法)
 - **地域包括ケアシステム**を構築
- H.26.診療報酬改定・H.27.介護報酬改定予定
- 今後は医療計画(ビジョン)と介護保険事業支援計画を総合的に考え、その整合性を図る

御調で地域包括ケアがはじまった きっかけとその後の経緯（変遷）

- 1 在宅ケアによる寝たきりゼロ作戦
→ 最初はソフトからはじまった
- 2 保健・医療・福祉の連携・統合
→ 病院と行政のドッキング（行政改革）
- 3 各種介護施設の併設
→ 維持期（生活期）のリハビリセンターを合築
- 4 住民参加
→ 住民組織とボランティア
- 5 地域包括ケアシステムの構築

寝たきりがつくられる要因

- 不十分な一次予防(運動・栄養・口腔ケア他)
- 不適切な介護予防と不適切なケアマネジメント
- 介護力の不足
- 不適切な介護(対応)
 - [・寝かせきり ・介護のし過ぎ
 ・安易なオムツ ・義歯の不適合
- 閉じこもり → 廃用症候群
- リハビリ開始時期の遅延と医療
(看護・リハビリ)の中断
- 不適當な住環境と福祉用具
- 在宅ケアの受け皿の不備

住宅改修 玄関等の手すり

(平成5年頃)



(平成24～25年)

納屋に吊るした簡易フーラーで

(昭和59年頃)

背中と肩をストレッチ

(平成20年頃)



平成25年5月入院
他医院からの紹介
(肺炎で腸骨褥瘡)
褥瘡部会が関与
毎日入浴、処置、
NST部会も関与

平成25年8月
3か月後 状況 }



介護予防

- 要支援が要介護の状態になることを防ぐ
～ 寝たきりゼロ作戦(地域リハビリテーション)
- 要介護度を増悪させない
- **運動機能向上**
栄養改善
口腔機能向上
～ **口腔ケア、医工連携**
呼吸筋増強トレーニング
口輪筋増強(咀嚼力)トレーニング
舌筋増強トレーニング — (舌圧測定器)
- 広島県では各市町の介護予防の評価を行い、マニュアルを作成予定

介護予防センター



歯科医師による訪問診療 口腔ケア



施設での口腔ケア



嚥下リハビリ



**医師と看護師による在宅ケア
(ALS患者)**



**リハビリスタッフによる
訪問リハビリ(ALS患者)**



**四国高松への旅行
(ALS患者)**

バリアフリー



福祉のまち (幸せの二十七時間)

福祉のまち・安心のまち 御調町にバリアフリーの家を建てたのは平成十年のことでした
昭和二十年八月・・・

広島で原爆の惨状を脳裏に刻んだ夫は自らの被爆体験や突然引き裂かれた家族の幸せ 失われた多くの人命の尊さを心に抱き続けておりました 心と身体に残された戦争の傷跡と向き合う時間の中で一冊の小説を書き上げました その夫の想いに寄り添う時ひとつひとつの言葉が胸に沁みわたり 頬を流れた涙の記憶が夫の優しさを思い出させてくれます 経済学を志す数多くの学生を前に教壇に立ち続け教授として歩んだ日々・・・ 娘や孫たちにも心からの愛情を注ぎ優しい眼差しで見守り続けてくれたことに感謝の気持ちでいっぱいです
福祉のまち御調町で看護・介護に差し伸べて下さったおひとりお一人の手の温もりにより最後は我が家に帰り 幸せの二十七時間を過ごすことができました事を厚く御礼申し上げます





経腸栄養とポンプ操作



人工肛門のパウチ交換



腹膜透析の管理



持続皮下注射



血糖測定

病棟での退院前カンファレンス



緩和ケア病棟でのカンファレンス



在宅でのカンファレンス



訪問看護・訪問リハビリ活動状況

(公立みつき総合病院)

年 度	訪問看護延件数		訪問(在宅)リハビリ			
	病院 保健福祉センター	訪問看護 ステーション	実人数	延件数	※住宅改修	
平成20	2,884	9,507	384	2,962	3 109	112
平成21	2,955	9,052	426	2,979	2 142	144
平成22	4,099	9,584	453	3,054	2 124	126
平成23	3,735	9,048	468	2,980	1 120	121
平成24	3,819	8,381	504	2,959	3 128	131
平成25	4,104	8,792	551	3,342	4 120	124

※ 住宅改修 上段:スタッフが実際に行なったもの
下段:指導後、業者等が行なったもの

公立みつぎ総合病院全景

(平成25年9月 240床)



〔昭和42年5月オープン時
40床、45人〕



保健福祉センター



地域包括支援センター



健康づくり座談会 (健康わくわく21)



ナイトパトロール



保健福祉総合施設全景



昭和56年

〔県立ふれあいの里オープン時〕

特養 100床

リハセンター

(平成20年6月 317床)



急性期(外来・一般棟)



公立みつき総合病院 における リハビリテーションの状況

回復期リハビリ
テーション病棟



維持期(施設)



介護教室



デイサービスのボランティア



福祉バンク(市町村合併前)



緩和ケア病棟でのボランティア



公立みつぎ総合病院を核とした地域包括ケアシステム (保健・医療・介護・福祉の連携・統合システム)

行政 保健 所

保健福祉センター
歯科保健センター
介護予防センター
(運動・栄養・口腔)

訪問看護ステーション
(訪問看護・訪問リハ)
居宅介護支援事業所
ヘルパーステーション

公立みつぎ
総合病院
急性期病棟 (ICU)
緩和ケア病棟
回復期リハ病棟
療養病棟
地域包括医療・ケア連携室
高次脳機能地域支援センター
広島県リハビリテーション支援センター
地域リハビリテーション広域支援センター

在宅

地域包括支援センター

地域住民

医師会、歯科医師会
他 病 院
社会福祉協議会
障害者通所施設(授産所)

保健福祉総合施設

介護老人保健施設
(一般棟・認知症専門棟)
特別養護老人ホーム
居宅介護支援事業所
デイサービスセンター
リハビリテーションセンター(診療所)
ケアハウス
グループホーム
老人性認知症センター
福祉人材研修センター

救護施設

他市介護施設

公立みつぎ総合病院の理念

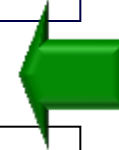
地域包括医療・ケアの実践と地域
包括ケアシステムの構築及び住民
のための病院づくり

公立みつぎ総合病院における 地域包括医療・ケアの状況

急性期医療



(地域包括医療・ケア連携室)



包括医療・ケア

健康づくり、リハビリテーション、緩和ケア

在宅医療・ケア (訪問看護ステーション)

療養病床

保健福祉総合施設 (介護施設)

保健福祉センター (健康管理センター)

介護予防センター、地域包括支援センター

他医療機関

病
病
間

病
診
間

地域包括医療・ケア（システム）とは

- 地域に包括医療・ケアを、社会的要因を配慮しつつ継続して実践し、住民（高齢者）が住みなれた場所で、安心して一生その人らしい生活が出来るように、そのQOLの向上をめざすしくみ
- 包括医療・ケアとは治療（キュア）のみならず保健サービス（健康づくり）、在宅ケア、リハビリテーション、福祉・介護サービスのすべてを包含するもので、多職種連携、施設ケアと在宅ケアとの連携及び住民参加のもとに、地域ぐるみの生活・ノーマライゼーションを視野に入れた全人的医療・ケア
- 換言すれば保健（予防）・医療・介護・福祉と生活の連携（システム）である
- 地域とは単なる Area ではなく

Community を指す（山口 昇）